

の前に、白田王にぎ、之が千二コにみいふと
いう看枚が出ていた。四月から五月連休にか
けて、すいぶん雨が降ったものぬ。そして、
雨じゃなくともアスレは多いけどぬ。

(19) 地下鉄駅の自動改札化

地下鉄の動物園前駅が、五月十二日から自
動改札になった。すでに改札がキカイ化され
ていて、あんまりいい感じではなかったのが、
さらに悪くなるということ。それと、テッポ
ウがやりにくくなるのは確実だ。

地下鉄といえは、万博のついでの名線開通
まるには、冬の名もすいぶん怖らいた。私モ
ん駅の仕上げ工事はテッポウテッポウをくり返
した下ぼえがある。

ところが、そんなにしてや、た工事の成果
があまり生きて使われなからイヤになる。
N駅の場合をいうと、厳密に水平を量る据
えつけた改札ボックスだ。たのに、お、と聞
傾これるところがある。無論、一生懸命に

読者之声

頭にきた!

結局ママ先礼します。私は
あれりん地区のアニコをして
る異ですが、甘り頭に来たの
さぞお前希希活世にこの件は
のせて下さい。

語の内容は、名古屋の**金森**

組という飯場があります。あ
れりん地区の天和やめしやの
前1-4月に一回二十名位あ
つめにきています。姉の四千
円と言、これし代はてのの
引、日曜は休みなし、土不の
片付仕事がクイ打の手元で三
千二百円です。

もんくを言うとき世話役がな

バケツの手盛りでコンクリートをフぎこんだ
出札。口の穴も同じく用鎖して、そこに通じ
てる大きな階段も用鎖して、世の平が変、たこ
いのれりやそれまでだけだ。た、た十年ぐら
いの見通しもない工事計画だ。たのかぬ。
こちらには日曜、カネさえもらえればいよ
うなもんをも、長いことつめ之通、アニコ
なりに苦勞をしたのに、できてみたら使われ
ないのとは何となく面白くないよ。

(10) センター東側、ドマ末迄と一花園の間の

あき地は一青空酒場が店を出している。天
気が曇りなら青空ではなくて、曇天酒場だ
が、とにかく人気はいいようだ。

富美酒造直管と名乗り、あき地にと二か
の工ボ干(解体)の産物みだいなし型のカラ
ンターを置いただけ。アテモカナン石モの
しかないけれど、気分はわるくない。

特報 富美酒造の大が二三の年、ビール大が二
この田だ、たと思う。

ぐるけるのらんぼう、今の世
の中、こんな事があつていい
ものか、面成にもだいい人
が泣いています。せむ皆さん
気をつけるように言、て下さ
い。(名古屋東区の前仲基津
屋に話をしています)

一併報告ヨリ

○

昨年の十二月迄柴谷町の三

井造船(環永田造船)の阪神廿

一ピスという下請をゆらいて
居ました。正月早々小細工
をした者があり、左運させら
れ自分では到底出来ぬ仕事を
当てがけられ、到底罷め之終い
あまけに現在は種々な病気を
持病、之療養中の方です。

編集委員会の皆様のお健康
を祈り致します。併而、祈

務者活世への前途を祈ります。

菅田 明(おネ)

○

前略 今日見ている、
第15号別荘暮らしがみもしろい。
昔を思い出して笑、たよ。

くるしい仕事をして二度と、
行く所をない、反省する人が多
いと思う。

酒口正道だ。人ぞれぞれ
が出る。小生は話をして、しま
いには、おてしまう。

岸田 博(おネ)

○

小生が笠に流れて来、早や八
年、日だけがたつのは本当に早い
ものです。冬に来た当初はあま
り酒を飲めず、定い単価の仕事
に行、之も、貧乏の中にも満足
感を味わったものでした。

しかし最近、日増しに悪く
 行、ていく酒くでの悪ぶに反
 人との間のみぞは深まるはか
 リ、酒を飲まない日は自己嫌
 害の連日、ついつい酒を手
 にしているのです。他人に生
 首をかけるのは大変悪い事だ
 と思ひ、飯場などに出かけて
 10日20日と酒を飲、てみるの
 はずが、金が入ると又、元の
 ぞくおみに戻、てしまふので
 す。友人を中傷、侮辱して一
 時的に批判してしまふ現在の
 小生が、情けなくてみじめさ、
 又今日も大酒を飲まのす。
 酒を此つ施設、租税所、新
 寛見舞をせざる様い致します。
 此酒を心から求める気の弱
 い男。
 大酒 隆 (32才)

本年一月十九日から名古屋
 に帰任してあります。釜ヶ崎に
 仕事が少ないので、もう四々
 日下ります。
 久し振りに帰、て来ました。
 そしてなつかしい労務者渡世
 を拝見してまじい気分一杯
 です。5月24日の時点では号
 数はちす、とすめいている感じ
 はずが、そんなもの感じませ
 んよねえ。
 15号には、前科が五つもの私
 を投稿したかったけど残念さ
 した。
 鈴木秀一 (33才)

いたアア箱や別荘を理想として
 苦笑いたしました。これは体験
 者のみ知る味です。
 良い名稱集の企画です。
 ガンバリして下さい。
 河本時次
 15号まえがぎの中の監獄法改
 正案が、表だ、て悪くなつたり
 しないというのが大方の意見だ
 と、というのにはオミオミ的は表現だ
 し、改悪の本質を見落している。
 「近代化」という名の下には
 リ、合理的な支離、近代の純
 治方式への切替えだと思ひます。
 大西 豊 (32才)
 この欄への投稿は、巻末のと
 じ込み八カキを切りと、ご不ス
 トへ。印字はいりません。(係)

昭和四一年五月二十八日暴動

釜ヶ崎が「おいらん地区」に

「釜ヶ崎」が「おいらん地区」に
 キストに強奪事々々

岩田 秀一 編

暴動の発端は小さな火事だった。一消防車がくるのがおそい」とわめいた労務者たちは、
 火事とは関係のないパチンコ店を手はじめに、食堂や警察の分駐所をおそい、石を投げ、
 火をつけ、車を焼き、警官のピストルを奪った。五年前の釜ヶ崎暴動の発端も、交通事
 故の現場にパトカーがくるのがおそいということだった。理由のない暴動が明け方近
 くまで続いた。警察の警戒体制がおくれたという不手際も騒ぎを大きくした。

(午後九時三五分) 西成区東入船町三六、
 暮会所「ニコニコ荘」から出火、約五十平方
 メートルを焼いた。

ら移動しはじめ、約三百メートル東の地下鉄
 動物園前駅にあるパチンコ店「大一ホール」
 と同店二階の食堂「大よし」をおそい、投石
 をはじめた。

はじめ数百人の群衆が火事を見物してい
 たが「消防車のくるのがおそい」と騒ぎ
 はじめた。火が消えたあとも群衆は立ち
 去らず人数もふえはじめた。
 (同十時すぎ) 群衆はやがて霞町交差点か

(同十時半) 群衆は約二千人にふくれ「こ
 のパチンコ店はわれわれのかせぎをまきあげ
 てけしからん」「こわせ、こわせ」と叫びな
 がら投石したり、丸太ん棒をふりまわすなど